質問１

1951 年生まれです。三鷹市の N（O?）と申します。

1990 年代後半から一昨年まで海外に行っていたんですが、このあたりの地域の環境の変化にびっくりしています。今回初めて説明会に出席しましたが、地質学について確認させていただきたいと思います。

牟礼の真上のところだけを調査されているようですけれど、三鷹台と牟礼の間、神明神社方向に断崖があります。通常、断崖は河川断層と地震断層の 2 種類がありますが、あれは河川断層ではないような気がします。関東大地震は大井松田断層と立川断層が同時に動いた。立川断層を構成する流れが野川の国際基督教大学のあたりの断層も形成しているはずだが、と同時に水の流れが微小な地震を引き起こすという研究もあります。

牟礼の井戸の長年の研究にもありますが、水の流れだけではなく工事によっても同じような災害が発生します。なぜかというと、大きなダムを作ったところでは必ず微小地震が発生するという記録も残っています。その研究がどうなっているかをお聞きしたい。

と同時に、国家プロジェクトというものは計画ありきで、いずれは完成してしまうものですが、その後 50 年、100 年の住民の痛みを知ってもらうために、国交省、及び行政の方にお願いなのですが、この三鷹市、北野・井口あたりにいっしょに住んでいただけませんか？家族揃って。（会場拍手）

その覚悟があってこそ進めていただけるのなら、「この計画が国民にプラスだからマイナスには目をつぶってください」と言うなら、国民と痛みを分かち合ってください。（会場大拍手）

回答１（国交省・和田）

環境影響評価書で個々のデータはのちほど個別にご説明することはできます。

その中で、一般的な水位についての予測評価はしております。これは予測の域は出ませんが、80 箇所以上のボーリング調査や降雨量調査などをした上で、深層地下における影響、浅層部における影響も流動保全工法により、いずれも影響は非常にわずかという予測結果が出ています。調査の結果はそのように出ていますが、今後のモニタリングもしっかりしていきます。

（国交省・野笹）

工事による影響については、今回のボーリング調査で大深度及び開削工事部分における地下水の状態をさらに詳細に把握させていただき、設計施工の方に十分反映させていこうと思っています。今回の調査にぜひともご協力をお願いしたい。

質問２

松井です。事業の概要説明ということですが、具体的な事業の責任者、国交省の言い方では「事業主体」は誰なのでしょうか？予算について、今回の補正の執行については分かりましたが、今後どのような形で多くの人の生活に関わる事業を進めていくのか、お金はいくらかかってどのように進むのか教えてください。具体的なスケジュールも知りたいです。

もうひとつ質問です。水について質問があります。

ちょっとイメージしてくださいね。僕が今、ペットボトルに水を入れてあなたの前に持ってきています。その水をあなたの頭からかけます。あなたは「何をするんだ」と言ってきょとんとするでしょうね。「すぐ乾きますから大丈夫です、ただの水ですから。乾けば元通りになります」と僕が言います。でも得体の知れない水をかけられて、本当に元通りになりますか？侮辱を受けた人間は忘れることはできません。元通りにならないと思います。ただこれはお話ですので、大変失礼なお話をしました。お詫びします。

おかけしたのは三鷹市の水道水です。僕たちはこれを飲んで暮らしていますし、水がただ右から左へと流れていけばいいとは思っていません。よくイメージし

てくださいね。

水がたくさん出ます、涙も地下水も。とても怖いと思っています。

この話を聞いてあなたはどう思いますか？あなたの気持ちを聞かせてください。

回答２（国交省・和田）

４月の国幹会議では、施工主体は国または高速道路会社という位置づけでした。国の直轄事業と高速道路会社の行う有料道路事業との合併施工方式で検討してまいりました。

その後、政権交代があり、事業手法については検討するということになり、現在においては事業主体・事業手法とも今後検討されていくことになりますが、今回はあくまで国の直轄事業の事業主体として、説明させていただきます。

スケジュールですが、予算がついてそれが執行されるという形で進んでいきますので、現時点で来年度予算は検討中です。今後予算がついた時点でスケジュールについてしっかりご説明したいと思います。今のところ具体的には未定です。

（国交省・野笹）

外環の事業費について説明します。約 1.28 兆円と想定しています。この概算事業費ですが、新技術の採用とか他の路線のコスト縮減の実績を踏まえて算出したものです。

今後の具体的な実施段階においても競争性の高い契約方法とか、合理的な施工方法を採用するといったことによってなるべくコスト縮減に努めてまいりたい。

地下水に関するご意見ですが、当地区の地下水に大変ご心配であると言うことは我々も十分認識しているところです。今回、ボーリング調査では地下 70 メートルほどとしましたが、土の性状や固さなどとともに地下水の状態についても把握していこうと考えております。

また井戸調査なども個別に訪問させていただきまして、把握させていただき、設計に反映させたい。よろしくご協力のほどを。

質問３

地元の北野１丁目のＩと申します。

中央ジャンクションの整備で失われる緑の量が７ヘクタールくらいと聞いていますが、実はジャンクション予定地のすぐ近くで相続が起きて、5000 平米くらいある。都や国が緑の代替地としてそこを取得することができないでしょうか？

このままではそこにはマンションや住宅ができて、また緑が減ります。ジャンクションに対してどのように緑を配慮（配置？）するかわかりませんが、積極的に都や国が取り組んでいただきたいと思うのですが、どうでしょうか？

回答３（国交省・堀川）

今回の外環の対応の方針において中央ジャンクション地域の農地の代替地として、可能な限り関係権利者の意向を反映できるよう、関係機関の協力を得ながら代替地の確保・斡旋の情報提供、ならびにこれらに関するしくみづくりの検討などを実施していきます。

代替地として確保した土地については区市と調整し、適正な開示につとめさせていただきます。今後皆様のご意見を伺う機会を作りながら実施していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

会場：わからない…。

（国交省・野笹）

失われる緑について、スライドをご覧いただきます。（中央ジャンクション部分）画面の黄色いランプのところ、Ｕ字型の構造物のところに「できるだけふた

をかけてくれ」と地元からの要望があります。この黄色い部分に関しての「ふたかけ部分」については、設計段階において地元のご意見を聞きながら、公園とか緑地的な利用が可能になるように検討していきたいと考えてございます。

会場：ふたかけをして、その土はどこから持ってくるの？ 三鷹の農地は何百年かけて土作りをしていると思っているんだ！（そうだ！）

質問４

豊田と申します。インターチェンジの予定地のすぐそばに住んでいます。

事業説明会といいますが、お伺いした範囲では計画の説明ですよね？

この法的な位置づけをはっきりおっしゃってください。事業主体については先ほど聞きました。しかし現政権は補正予算の９割を執行停止にした。会場には地権者もいらしていますが、いよいよ自分たちの思うように土地を処分できるのではないかと思っている方もいらっしゃるし、反面、こんな状況で立ち退かなくてはいけないのかと思われる方もいるわけです。それで、来年の予算もわかっていません。今この段階でこういうことを早急にやるということはどういうことなのか。八ツ場ダムの二の舞になることは私たちはごめんです。

この事業費は最初は１兆２500億円、その次は１兆3500億円、その次は１兆6000億円、そして今回の国幹会議で１兆2820億円になった。これは本当はどのくらいかかるのか分からないわけです。あらゆる予算が逼迫している中で、なぜ国民の心と乖離したこういう事業が淡々と進められるかのような事業説明会が開かれるという、その意識そのものを私たちは疑います。（会場大拍手）

この三鷹市は…（司会：なるべく手短にお願いします）…　オタクは仕切らなくていいから！…（会場：笑い＋拍手）…　今三鷹はジャンクションとインターチェンジ、これは私たちにとっては大変なことです。三大公害というのをご存知ですよね？大気汚染･騒音･地下水汚染です。これが私たちのところに降り注ごうとしているんですよ。これをどういう具合にやるかということについて、対応の方針の前に私たちはたくさんの要求・質問をしました。しかし対応の方針では事業の実施段階でそれぞれの段階においてこれをやる、と。先ほどモニターで「今後の技術開発の動向、施工方法の計画を踏まえ慎重に考えていく」と、これを３回繰り返しています。つまり、やってみなければわからない状態なんですよ。泥縄式ですよね。こんなことで市民が安心できると思いますか？（司会：簡潔にお願いします）

もうひとつ、PIのこと。外環沿線協議会とPI沿線会議、これが42回と25回開かれています。この中で最終の結論は、計画の必要性について共通の認識を得るには至らず、引き続き話し合いの場を設けることといったにも関わらず、08年度の地域課題検討会においては、最初から何を言い出すかと思えば「賛成や反対を議論する場所ではない」ということから始まったわけですよ。それで出てきた対応の方針は２年７ヶ月前にできた、『皆さんから承った問題』という分厚い本と全く同じものなんですよ。そんな状況で市民が納得してすんなり事業説明会を聞ける立場ではないと思うんです。（会場拍手）

単純に答えられることをひとつだけ。現政権が９割の用地収容を執行停止にした意味というものをあなた方はどう考えているのですか？お答えください。よろしくお願いいたします。（拍手）

（会場から「アンタの演説を聴きに来たんじゃないんだ、バカヤロウ！」の野次、それに対して「今の野次！名を名乗れ！」）

回答４（国交省・和田）

今回の説明会の位置づけについては法的なものはご

ざいません。現地に入る際に皆様に作業の内容についてご理解いただくためのものでございます。

予算についてですが、補正予算の９割くらいが確かに執行停止にはなっております。政務三役レベルの決定でございますが、なぜかという詳細な理由は聞いておりません。一方で執行停止になる前の、事務所としてもいろいろ地元の状況等を含めて、予算がもともとついていたという事実もございますので、しっかり地権者の皆様のご要望に沿うような形で上部機関とも相談して、皆様の不安が解消できるような対応をしてまいる必要もあろうかと思いますので、最終的に執行停止にはなっておりますが、地権者の皆様のご意見をしっかり踏まえて上部機関にも働きかけていきたいと考えています。

予算については政府の意向により決まることですので、現時点では未定であるということをご理解いただければと思います。

また、大気・騒音・地下水についての地元の皆さんのご懸念というものは、課題検討会の中でも多数いただいているので、我々としても非常に取り組むべき課題として重いものがあります。あくまで環境影響評価ですべて大丈夫だというつもりは毛頭ございません。予測評価した結果の妥当性を、工事及び供用後の影響についても検証してまいりたいと思っています。対応の方針ですべて大丈夫というわけではなく、今後も各段階で引き続き皆さんのご意見をききながら、詳細を検討してまいりたいと考えています。

会場：全部、先の話じゃないか！

司会：まもなく時間でございますので、大変恐縮ですが、残り２人のご質問にしたいと思います。このあと 21 時まで後ろで個別にご質問やご相談などに応じさせていただくという予定でございます。

それでは質問のある方、挙手をお願いいたします。

質問５

小笠原と申します。牟礼に住んでいます。

山ほど質問はあるんですが、やめました。

いいですか？二人目か三人目の若い方が「気持ち」と言うことをおっしゃって、あなたどうなんだということを聞いたところが「気持ちの話は主観だから」ということで一蹴されていましたよね。

あのね、これだけの市民を、生身の人間をひとつの場所に集めておいて、あなたたちね、私ら、この計画の周辺で、まさにこの土地で、毎日この土の上を歩いて、この土地の空気を吸って、この土地の水を飲んで、暮らしているわけだ。

一番大切なものは何だと思ってるの？

この土地で、毎日どんな気持ちで生きていくか。一番大事なことじゃない。

和田さん、あなた、住民の声をしっかり出先機関として上に届けるとおっしゃってた。話が違うじゃないか。私たちの一番大切なものについて答えられない人が、どうやって私たちの声を上に届けられるんですか？（会場大拍手）

彼に謝れ！謝れ！　そしてちゃんと質問に答えろ！

住民をなめるな！

質問６

三鷹市牟礼に住んでいるＨです。

パワーポイントの 18 枚目、具体的にお答えをお願いしたい。

東八インターチェンジ付近に住んでいて、排気ガスが人の健康や生命に与える危惧を特に住民が心配しているわけですね。東八インターチェンジは中央高速から１キロですね。その隣に「高井戸インター」って書いてありますね。高井戸インターは 2.5 キロしか離れていません。要するにほとんど同じ位置なんですよ。東八インターだろうが、高井戸インターだろうが。

高井戸インターというのは、オンランプは中断されているんですよ。30 年前に。

このインターチェンジを三鷹市は開設を完了するということで、意見書を出しているのだから市民に約束しているんですよね。これを開設することは私の調べたところではものすごく難しいことだと思います。 2 年経ちますが具体的な回答はありません。

実際に具体的な回答ができるのか？できないとしますと、私が考えるのは、住民が危惧なり不安なりを持たずに生活できるのか。東八インターの方が条件が悪いはずです。高井戸インターが開設されないで、東八インターが開設されるなどということは私には考えられない。どうすればいいかというと、最低でも東八インターの条件を高井戸インターと同じようにする。それを今後進めるにあたって暫定値（？）を計画と設計時に考えていただきたいのですよ。それで高井戸と東八を同じ条件にしていただきたい。

回答５＆６（国交省・和田）

まず私の発言についてですが、主観については答えさせて…（意味不明）…、進行の方で言われましたので…、ただ、あの、受け止める気持ちは私も同じです。

気持ちの話で申し上げますと、私も課題検討会等で皆様の不安、不満も含めてしっかり受け止める必要がまずあるな、と思っております。我々が皆様と同じ気持ちを共有すると言うことを軽はずみに言うのは難しい。皆様の生活している場所、歩いて生活されていて、空気を吸って、その中で私がその大切さを皆さんと共有できるというような軽い気持ちで申し上げているつもりではないんです。一方でしっかり事業者として、皆様のご不安・ご不満というものは、誠心誠意、事業の中でしっかりと保全対策をする。データにしてもしっかり観測したものを皆さんにお示しして、影響がないことをしっかり実証する、と。説明責任を果たしていきたいと思っています。気持ちで受け止めることができないものはしっかり事業の中でお示しをして皆さんのご不安というものを解消していきたいと思っておりますので、誠心誠意、このあとの説明の中でも疑問に対しては回答していきたいと考えていますのでこれからもよろしくお願いいたします。

（会場野次が多数飛ぶ､何を言っているのかわからない）

（ここで松井エイコ、立ち上がって発言する。）
今日当たっているのは男性ばっかりなんですよ！
（司会：お静かにお願いします）
女性の意見も聞いてください。女性の意見も聞きたいと思います。（会場大拍手）
（司会重ねて：大変申し訳ございません、会場の都合もございますので…あの…）
子供を連れてきているお母さんもいらっしゃるんです。女性の質問も加えてください！
（会場は「そうだ！そうだ！」の大合唱と拍手）
（六番目の質問に回答しかけようとする国交省・野笹を前に）
今の質問に答えてください！あとひとり質問を加えてください!!
（司会：会場の都合もございますので、おふたかたへの回答で締めさせていただきます。
具体的にお話を聞かせていただくという時間も会場の撤収の時間ではありますけれど用意させていただいておりますので、どうぞご協力お願いいたします）

会場から「総務課長！」「逃げるな！」「それが市民をバカにしているんだよ！」などの野次が多数飛ぶ。

（国交省・野笹）

高井戸インターチェンジの入り口については、東八インターに交通が集中しないようにその整備を進める必要があると国でも考えているところでございます。今後、放射五号線の整備の状況などを踏まえて、地域の皆様との合意形成を踏まえながら、早期整備がされるように働きかけていきたいと考えてございます。

司会：終了予定時刻の 20 時 30 分となりましたので、
以上を持ちまして終了させていただきます

会場から一斉に野次
「9 時までやってください！」「会場は 9 時までなんで
しょう！やってください！」

以上